

# 「出会いを力に！ つながる“技”



池田泉州銀行はこのほどつながらる“技”を開催し、約1000の団体が参加。但馬銀行、鳥取県、岡山県、広島県、香川県、徳島県、高松県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長門県、大分県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、宮崎県、鹿児島県、西地域のビジネスを活性化

## 2000を超える団体が参加

年々参加団体の数が増える「ビジネス・エンカレッジ・フェア」。今回は参加団体の数が初めて2000を上回った。特に公的機関の参加団体の数が大幅に増え、企業活動支援のための

情報発信などに努める積極姿勢が目立った。

今回参加した池田泉州銀行の取引先企業105社のうち、今回新たに参加した企業は6割弱に当たる56社。独自の技術やサービスなどを紹介したという意欲のある新進気鋭の企業が多いことを伺わせた。

また、今回も企業の出展エリアを、新産業や新市場創出が期待される5つの分野（環境・省エネ、医療・健康、先端産業、防災・セキュリティ、新市場創出）に分け、同じテーマを持つ企業のブースを同一エリア内に配置。企業と大学、公的機関のコネクターを明確に区分して、来場者に分かりやすくする工夫が例年以上に目立った。

会場内を一方通行にせず、どこからでも目的のブースに最短距離で行けるレイアウトにして、出会いと交流をしやすくしていることも、「知」と「技」をつなげて新ビジネスを創造するというフェアの目的を明確に表す特徴である。

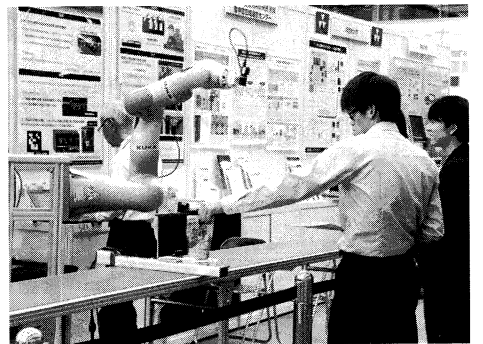
ユニークな展示が目立った池田泉州銀行の取引先企業。環境・省エネ分野では、可燃

ごみとして出せる樹脂製品を展示したアースクリエイトや、繊維の廃材から作った素材を紹介した門倉貿易、バイオマスからナノカーボンをつくり出したジカンテクノなど、環境に配慮した新素材の紹介例が目立った。山田技研のわずかな水流で発電照明できる街灯や、伸樂産業の万能洗剤の展示も注目された。防災セキュリティ分野では、景観に配慮した獣害対策用の「シカ矢

## 公的機関の積極出展姿勢

来を紹介したケイエフのブースが目をつけた。

力が入っていると想わせたのが、先端産業分野の展示である。金属部品加工や金型製作などで強い技術力を持つ企業の展示が並んだが、中でも得意とするゆるめ止めナットなどを、2ブース分のスペースを使って展示した大阪フォーミングの積極姿勢が印象に残った。奈良先端科学技術大学院大学発ベンチャー「mirrobo tech」が開発した雑談ができるロボット、菱田技研工業の橋梁点検ド



ローンの展示も注目を集めた。医療・健康分野では、グローバル・アイの健康献立、テクリコのVRを用いたリハビリ

用コンテンツなどが、これらの福祉のあり方を考えさせた。また、新市場創出分野では、アマサキやウイングなど印刷技術に強みを持つ企業の展示や、コトブキ企画の名刺発注システム、フルタイムシステムのパソコン・タブレット充電管理ロッカーなど、オフィスの業務改善に役立つサービスの展示が目立った。

大企業の出展が増えたのも今年の特徴だ。新規出展の沖電気工業は920MHz無線など、パナソニックは人材育成サービスなどを紹介。NTT